

「若手研究者支援 1 次募集」国際学会発表	
Vers un enseignement du FLE au service de la coopération et du vivre ensemble : L'apport éducatif de la perspective actionnelle	
氏名 山田 美樹	所属 人間文化創成科学研究科 比較社会 文化学専攻 博士後期課程
期間	2026 年 4 月 10 日 ~ 2026 年 4 月 12 日
学会・分科会名	Congrès régional de Taiwan 2026 pour les 30 ans de l'Association des Professeurs de Français de Taiwan (APFT)
場所	国立台湾大学（台北）
発表者名、 発表形式	Miki YAMADA、口頭発表

1. 学会・発表概要

本大会は、台湾フランス語教育学会（Association des Professeurs de Français de Taiwan : APFT）の設立 30 周年を記念して開催された。大会には、主に台湾、日本、ベトナム、インドにおいてフランス語教育に従事する教師および研究者が集い、活発な意見交換が行われた。

本大会において報告者は、欧州言語共通参照枠（CECR）が提唱する「行動中心の考え方（Perspective actionnelle : PA）」と、日本の教育改革で重視される「資質・能力」との関連性を主題とする口頭発表を行った。PA とは学習者を社会的行為者として捉える言語教育観であり（Conseil de l'Europe, 2001）、欧州では今日の言語教育の基盤をなす概念として研究が積み重ねられてきた。一方、日本では一部の研究者による実証研究を除き（Komatsu, 2016 ; Goujon, 2025）、PA の研究や実践は未だ限定的である。そこで本発表では、日本における PA 導入の意義を検討することを目的として、まず日本の教育改革及びその重要概念である「資質・能力」について確認した上で、PA において目指される能力観との比較検討を行った。その結果、両者の目指す教育の方向性には多くの共通点が見られることが明らかとなり、日本のフランス語教育の発展に向けて PA が有益な視座を提供し得ることを指摘した。

2. 学会参加により得られた成果

本学会への参加を通じて、主にアジアにおけるフランス語教育の現状と研究動向を把握するとともに、創意工夫に富んだ多様な教育実践について学ぶことができた。とくに本大会では、生成 AI 技術の教育的活用に関する議論にとどまらず、あえてこれらの技術に依拠せず、学習者の認知的側面や身体的経験を重視する実践に関する発表が多く見られた。人間的な活動を基盤としたこれらの教育実践は、報告者の研究課題である PA にも通底するものであり、今後 PA の実践方法を検討するうえで有益な知見を得ることができた。以上のように、本大会への参加は、海外での研究を踏まえ研究を深化させる貴重な機会となり、研究活動を国際的に展開していくための重要な経験となった。

3. 今後の展望

本研究成果は本学会の発表論文集に投稿するとともに、博士論文の一章としてまとめる予定である。また、今後は日本国内のフランス語教師を対象とした調査を実施することで PA 導入に伴う課題を検討し、その具体的な実践方法を提案することを目指す。これらの調査結果を踏まえて博士論文を執筆し、本学に提出する。

参考文献

- Conseil de l'Europe (2001). Cadre européen commun de référence pour les langues : apprendre, enseigner, évaluer. Paris : Didier.
- Komatsu S. (2016). Revaloriser l'enseignement du français au Japon, in Graziani, J-F. et Nishiyama, N. (éd.), Le Japon, acteur de la Francophonie - enjeux intérieurs, enjeux extérieurs, 41-47. Paris : Éditions des archives contemporaines.

若手研究者支援

Goujon J. (2025). *Pédagogie du projet au service de missions d'éveil aux langues-cultures étrangères (MELCE) : Étude de cas d'un dispositif à deux niveaux de médiation en milieu universitaire japonais*. Thèse de doctorat. Lille : ANRT-Université de Lille.

やまだ みき／お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻

- ・英文タイトル Towards French as a Foreign Language Teaching for Cooperation and Coexistence: The Educational Contribution of the Action-Oriented Approach
- ・英文氏名 Miki YAMADA